

2025年2月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年4月11日

上場会社名 株式会社ヨンドシーホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 8008 URL <https://yondoshi.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 増田 英紀
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役常務執行役員財務担当 (氏名) 西村 政彦 TEL 03-5719-3295
 定時株主総会開催予定日 2025年5月29日 配当支払開始予定日 2025年5月30日
 有価証券報告書提出予定日 2025年5月30日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2025年2月期の連結業績（2024年3月1日～2025年2月28日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 当期純利益 | |
|----------|--------|------|-------|------|-------|------|---------------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2025年2月期 | 45,902 | 16.3 | 1,960 | △6.5 | 2,351 | △6.5 | 1,377 | 5.9 |
| 2024年2月期 | 39,457 | △0.1 | 2,096 | 5.9 | 2,515 | 7.4 | 1,300 | 13.2 |

(注) 包括利益 2025年2月期 2,118百万円 (△2.3%) 2024年2月期 2,168百万円 (－%)

| | 1株当たり 当期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり当期純利益 | 自己資本 当期純利益率 | 総資産 経常利益率 | 売上高 営業利益率 |
|----------|----------------|-----------------------|----------------|--------------|--------------|
| | 円 銭 | 円 銭 | % | % | % |
| 2025年2月期 | 64.18 | — | 3.6 | 4.0 | 4.3 |
| 2024年2月期 | 60.65 | — | 3.4 | 5.0 | 5.3 |

(参考) のれん償却前営業利益 2025年2月期 2,645百万円 2024年2月期 2,593百万円
 当社は、のれん償却前営業利益を重要な経営指標としております。

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|----------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2025年2月期 | 66,494 | 38,935 | 58.5 | 1,812.89 |
| 2024年2月期 | 50,643 | 38,596 | 76.2 | 1,798.49 |

(参考) 自己資本 2025年2月期 38,915百万円 2024年2月期 38,577百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

| | 営業活動による キャッシュ・フロー | 投資活動による キャッシュ・フロー | 財務活動による キャッシュ・フロー | 現金及び現金同等物 期末残高 |
|----------|----------------------|----------------------|----------------------|-------------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 |
| 2025年2月期 | 3,023 | △10,536 | 7,648 | 1,705 |
| 2024年2月期 | 2,666 | △1,103 | △1,791 | 1,570 |

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | | 配当金総額 (合計) | 配当性向 (連結) | 純資産 配当率 (連結) |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|---------------|--------------|--------------------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 | | | |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 百万円 | % | % |
| 2024年2月期 | — | 41.50 | — | 41.50 | 83.00 | 1,791 | 136.8 | 4.6 |
| 2025年2月期 | — | 41.50 | — | 41.50 | 83.00 | 1,792 | 129.3 | 4.6 |
| 2026年2月期(予想) | — | 41.50 | — | 41.50 | 83.00 | | 111.6 | |

3. 2026年2月期の連結業績予想（2025年3月1日～2026年2月28日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|-----------|--------|------|-------|------|-------|------|---------------------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 32,000 | 64.4 | 1,200 | 43.6 | 1,400 | 33.5 | 700 | 4.2 | 32.62 |
| 通期 | 66,000 | 43.8 | 2,800 | 42.8 | 3,150 | 33.9 | 1,600 | 16.2 | 74.55 |

(参考) のれん償却前1株当たり当期純利益は、通期132円75銭となります。

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更：有
新規 1社 (社名) 株式会社羅針

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
② ①以外の会計方針の変更：無
③ 会計上の見積りの変更：無
④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

| | | | | |
|----------------------|----------|-------------|----------|-------------|
| ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む) | 2025年2月期 | 24,331,356株 | 2024年2月期 | 24,331,356株 |
| ② 期末自己株式数 | 2025年2月期 | 2,865,396株 | 2024年2月期 | 2,881,696株 |
| ③ 期中平均株式数 | 2025年2月期 | 21,461,476株 | 2024年2月期 | 21,444,022株 |

- (注) 1. 自己株式数については、当連結会計年度末に役員向け株式給付信託が所有する当社株式150,868株を含めて記載しております。
2. 1株当たり当期純利益 (連結) の算定の基礎となる株式数については、21ページ「1株当たり情報」をご覧ください。

(参考) 個別業績の概要

1. 2025年2月期の個別業績 (2024年3月1日～2025年2月28日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

| | 営業収益 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | |
|----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2025年2月期 | 603 | △74.3 | 154 | △91.9 | 268 | △86.7 | 204 | △89.4 |
| 2024年2月期 | 2,349 | 54.6 | 1,895 | 77.2 | 2,010 | 76.4 | 1,935 | 84.8 |

| | 1株当たり 当期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり当期純利益 |
|----------|----------------|-----------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2025年2月期 | 9.55 | — |
| 2024年2月期 | 90.28 | — |

(2) 個別財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|----------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2025年2月期 | 48,248 | 24,299 | 50.3 | 1,131.06 |
| 2024年2月期 | 38,756 | 25,874 | 66.7 | 1,205.41 |

(参考) 自己資本 2025年2月期 24,279百万円 2024年2月期 25,855百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、4ページ以降をご覧ください。
- 当社は、2025年4月11日 (金) に機関投資家、アナリスト向け決算説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明資料は、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

| | |
|----------------------------|----|
| 1. 経営成績等の概況 | 2 |
| (1) 当期の経営成績の概況 | 2 |
| (2) 当期の財政状態の概況 | 3 |
| (3) 当期のキャッシュ・フローの概況 | 3 |
| (4) 今後の見通し | 4 |
| (5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 | 4 |
| 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 | 4 |
| 3. 連結財務諸表及び主な注記 | 5 |
| (1) 連結貸借対照表 | 5 |
| (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 | 7 |
| (連結損益計算書) | 7 |
| (連結包括利益計算書) | 8 |
| (3) 連結株主資本等変動計算書 | 9 |
| (4) 連結キャッシュ・フロー計算書 | 11 |
| (5) 連結財務諸表に関する注記事項 | 13 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 13 |
| (会計方針の変更) | 13 |
| (追加情報) | 13 |
| (企業結合等関連) | 13 |
| (セグメント情報等の注記) | 15 |
| (収益認識関係) | 19 |
| (1株当たり情報) | 20 |
| (重要な後発事象) | 22 |

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度(2024年3月1日～2025年2月28日)におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境が改善するなど、緩やかな回復基調となりましたが、原材料価格の高騰や円安の進行に伴う物価の上昇、地政学リスクの高まりなど、依然として先行き不透明な状況が続きました。

流通業界におきましては、引き続き高額品の消費が好調に推移し、インバウンド需要も増加する一方、物価高騰に賃金の上昇が追いつかず、実質賃金の改善に遅れがみられるなか、消費者の節約・低価格志向も続いており、消費の二極化が拡大いたしました。

このような状況のなか、当社グループは、第7次中期経営計画初年度となる2025年2月期におきまして、経営環境への対応を前提に、顧客提供価値を追求し、将来の飛躍に向けた成長基盤を構築すべく、各種施策を推進してまいりました。

そして、信頼性の高い企業グループの構築に向けサステナブル経営を実践し、内部統制機能の強化、株主への利益還元、利益成長に繋がる中長期的投資等を実行することによって企業価値の向上に取り組んでまいりました。

また、グループの事業領域の拡大による新たな価値の創出と、事業ポートフォリオの最適化、持続的な利益成長の実現を目的とした未来志向の成長投資として、2024年12月に高級ブランド時計のリユース販売を運営する(株)羅針を、株式取得により子会社化いたしました。なお、(株)羅針の業績は2025年2月期第4四半期より連結業績に反映しております。

その結果、当期の連結業績は、売上高459億2百万円(前期比16.3%増)、営業利益19億60百万円(前期比6.5%減)、経常利益23億51百万円(前期比6.5%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は13億77百万円(前期比5.9%増)となりましたが、営業利益は「4℃」ジュエリーの苦戦等もあり減益となりました。

なお、当社が重要な経営指標として定めている「のれん償却前営業利益」は26億45百万円(前期比2.0%増)と前期を上回りました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。なお、当期より新たな事業領域の拡大も視野に入れ、ジュエリー事業はセグメント名称を「ブランド事業」へと変更しており、(株)羅針はブランド事業に区分しております。

(ブランド事業)

「4℃」ブランドを中心にジュエリーSPAを展開するエフ・ディ・シー・プロダクツグループは、女性客の支持拡大に向けた商品・販売促進戦略の見直しによる基盤づくりに取り組みました。既存顧客に対するアプローチ不足により男性客の売上高が落ち込みましたが、女性客の売上高は増加いたしました。なお、(株)羅針の業績は当第4四半期より反映しております。

その結果、売上高は216億76百万円(前期比27.5%増)、営業利益は15億9百万円(前期比5.8%増)と増収、3期連続の増益となりました。

(アパレル事業)

アスティグループは、強みである海外生産基盤を背景に、主力取引先との取り組みが拡大し、売上高・利益ともに伸長いたしました。

デイリーファッション「パレット」を展開する(株)アージュは、既存店売上高が前期比101.3%と5期連続で伸長いたしました。また、関東5店舗、関西5店舗の計10店舗の新規出店を継続的に実行したことで、マーケットシェアを拡大いたしました。

その結果、売上高は242億26百万円(前期比7.9%増)、営業利益は10億20百万円(前期比2.4%減)と増収、減益となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(流動資産)

当連結会計年度末における流動資産は199億39百万円となり、前連結会計年度末に比べ59億97百万円増加いたしました。主な要因は、商品が58億83百万円増加したこと等によるものであります。

(固定資産)

当連結会計年度末における固定資産は465億55百万円となり、前連結会計年度末に比べ98億53百万円増加いたしました。主な要因は、のれんが73億11百万円増加したこと、投資有価証券が9億45百万円増加したこと等によるものであります。

(流動負債)

当連結会計年度末における流動負債は123億5百万円となり、前連結会計年度末に比べ67億円増加いたしました。主な要因は、短期借入金が49億円増加したこと、1年内返済長期借入金が20億円増加したこと等によるものであります。

(固定負債)

当連結会計年度末における固定負債は152億53百万円となり、前連結会計年度末に比べ88億11百万円増加いたしました。主な要因は、長期借入金が増加したこと等によるものであります。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産は389億35百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億39百万円増加いたしました。主な要因は、その他有価証券評価差額金が7億43百万円増加したものの、利益剰余金が4億14百万円減少したこと等によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における連結ベースの現金及び現金同等物（以下、「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ1億34百万円増加し、当連結会計年度末には17億5百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における営業活動の結果、資金の増加は30億23百万円（前連結会計年度比3億56百万円増）となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益24億18百万円及び減価償却費7億39百万円があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における投資活動の結果、資金の減少は105億36百万円（前連結会計年度比94億33百万円減）となりました。これは主に、子会社株式の取得による支出102億2百万円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における財務活動の結果、資金の増加は76億48百万円（前連結会計年度比94億39百万円増）となりました。これは主に、長期借入金による増加100億円、配当金の支払額17億91百万円の減少があったことによるものであります。

(4) 今後の見通し

流通業界におきましては、賃金と物価の好循環による経済成長実現への期待や、インバウンド需要の伸長などにより、消費の拡大が続くことが期待されます。一方で、海外における地政学リスクの高まりや金利の動向、物価の上昇に伴う消費者マインドの冷え込みも懸念されます。

このような状況のもと、当社グループは、第7次中期経営計画2年目となる2026年2月期、「Challenge for Future 未来への挑戦」～2030年に向けて～をスローガンに、2030年に向け将来の飛躍的成長を支える基盤構築に引き続き取り組んでまいります。

当社グループの業績水準は、(株)羅針の連結子会社化により大幅に上昇する見通しです。また、新たに参入したりユース業界は環境問題に対する関心の高まりなど、サステナブルな社会の実現に向けた消費者の価値観の変化により今後も持続的な成長が見込まれます。成長する市場に対し、当社グループの持つ盤石な財務基盤とブランド運営力により(株)羅針の強みを最大限引き出すことで、持続的な成長を実現してまいります。

既存事業においても、それぞれ本質的課題の解決に向けた投資を積極的に実行することで更なる活性化を図り、それぞれの事業領域において持続的な成長を可能とする強い体質を構築してまいります。

ブランド事業では、認知度の高いブランドを複数運営することで、マーケット創造を推進してまいります。

「4℃」ジュエリーを展開するエフ・ディ・シー・プロダクツグループでは、引き続きマーケティングカレンダーに基づく「4℃」MD改革の推進に取り組んでまいります。さらに、デジタルマーケティング部門を新設し、OMO戦略を推進することで、お客様の体験価値を一層向上させていきます。また、(株)羅針では、当社グループの盤石な財務基盤を活かし品揃えを拡充することで、売上高のさらなる拡大を図ります。確かな鑑定力による高い信頼性と豊富なラインナップにより、高級ブランド時計を専門としたリユース販売店としての魅力を高め、お客様からの支持を獲得してまいります。

アパレル事業では、引き続きマーケットの更なる拡大に取り組みます。アパレルメーカーを展開するアスティグループでは、コスト優位性の高い素材や機能性素材、サステナブル素材など、特色のある素材を開発し、テキスタイル展を通じて提案することで、取引先からの更なる支持の拡大を図ります。デイリーファッション「パレット」を展開する(株)アーजूでは、第7次中期経営計画の3ヶ年は、既存店の伸長と、每期10店舗の出店を継続することで、売上高の拡大を図ります。

また、信頼性の高い企業グループの構築に向け、サステナブル経営を実践し、内部統制機能の強化、株主への利益還元、利益成長に繋がる中長期的投資等を実行することにより、企業価値の更なる向上に取り組んでまいります。

以上により、次期(2026年2月期)の連結業績見通しにつきましては、売上高660億円(前期比43.8%増)、営業利益28億円(前期比42.8%増)、経常利益31億50百万円(前期比33.9%増)、親会社株主に帰属する当期純利益16億円(前期比16.2%増)と大幅な増収増益を見込んでおります。また、重要な経営指標として定めている「のれん償却前営業利益」は40億49百万円(前期比53.1%増)を見込んでおります。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社グループは、株主に対する利益還元を重要な経営課題の一つと認識し、利益配分に関する基本方針として安定的・継続的な配当と、機動的な自己株式の取得を実施すること等による総還元性向の水準向上に取り組むとともに、自己資本の圧縮を図り、将来的にのれん償却前ROE10%以上を達成することを目標に掲げております。

また、株主還元を測る重要な指標としてDOE4%以上を目標に設定し、将来における1株当たり年間配当100円の達成を目指しております。

この方針に基づき、当期末の配当につきましては、1株当たり41円50銭とさせていただく予定です。当中間期末の配当(1株当たり41円50銭)と合わせまして、通期では83円とさせていただくことで、DOE4.6%となる予定です。

なお、次期の配当につきましては、1株当たり中間41円50銭、期末41円50銭の年間83円を予定しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは日本基準を適用しております。

なお、IFRS(国際財務報告基準)の適用につきましては、国内外の諸情勢も考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2024年2月29日) | 当連結会計年度 (2025年2月28日) |
|-------------|-------------------------|-------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,579 | 1,708 |
| 受取手形及び売掛金 | 2,905 | 2,926 |
| 商品及び製品 | 8,080 | 14,127 |
| 仕掛品 | 108 | 110 |
| 原材料及び貯蔵品 | 430 | 336 |
| 前渡金 | 1 | 2 |
| 未収入金 | 579 | 466 |
| その他 | 261 | 268 |
| 貸倒引当金 | △5 | △7 |
| 流動資産合計 | 13,941 | 19,939 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 4,027 | 4,045 |
| 土地 | 5,839 | 5,839 |
| リース資産(純額) | 22 | 14 |
| その他(純額) | 427 | 368 |
| 有形固定資産合計 | 10,316 | 10,267 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 1,241 | 8,553 |
| リース資産 | 0 | — |
| 商標権 | 0 | 0 |
| 顧客関連資産 | — | 1,107 |
| 技術関連資産 | — | 439 |
| その他 | 482 | 466 |
| 無形固定資産合計 | 1,724 | 10,567 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 20,530 | 21,475 |
| 差入保証金 | 227 | 344 |
| 長期貸付金 | 2 | 1 |
| 繰延税金資産 | 1,518 | 1,438 |
| 退職給付に係る資産 | 443 | 449 |
| 敷金 | 1,579 | 1,611 |
| 破産更生債権等 | 20 | 20 |
| その他 | 384 | 424 |
| 貸倒引当金 | △47 | △47 |
| 投資その他の資産合計 | 24,660 | 25,719 |
| 固定資産合計 | 36,701 | 46,555 |
| 資産合計 | 50,643 | 66,494 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2024年2月29日) | 当連結会計年度 (2025年2月28日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 2,369 | 1,957 |
| 電子記録債務 | 699 | 340 |
| 短期借入金 | — | 4,900 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | — | 2,000 |
| リース債務 | 9 | 6 |
| 未払法人税等 | 252 | 748 |
| 賞与引当金 | 271 | 226 |
| 役員賞与引当金 | 48 | 11 |
| ポイント引当金 | — | 50 |
| 資産除去債務 | 86 | 93 |
| その他 | 1,869 | 1,969 |
| 流動負債合計 | 5,605 | 12,305 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | — | 8,000 |
| リース債務 | 15 | 9 |
| 長期預り保証金 | 489 | 482 |
| 繰延税金負債 | 3,981 | 4,779 |
| 退職給付に係る負債 | 494 | 437 |
| 役員株式給付引当金 | 243 | 282 |
| 資産除去債務 | 979 | 913 |
| その他 | 237 | 348 |
| 固定負債合計 | 6,441 | 15,253 |
| 負債合計 | 12,047 | 27,559 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 2,486 | 2,486 |
| 資本剰余金 | 7,178 | 7,170 |
| 利益剰余金 | 30,567 | 30,153 |
| 自己株式 | △6,123 | △6,104 |
| 株主資本合計 | 34,109 | 33,706 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 4,857 | 5,601 |
| 繰延ヘッジ損益 | 8 | △20 |
| 土地再評価差額金 | △233 | △233 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △165 | △138 |
| その他の包括利益累計額合計 | 4,467 | 5,208 |
| 新株予約権 | 18 | 20 |
| 純資産合計 | 38,596 | 38,935 |
| 負債純資産合計 | 50,643 | 66,494 |

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (自 2023年3月 1日 至 2024年2月29日) | 当連結会計年度 (自 2024年3月 1日 至 2025年2月28日) |
|-----------------|---|---|
| 売上高 | 39,457 | 45,902 |
| 売上原価 | 19,927 | 25,960 |
| 売上総利益 | 19,530 | 19,942 |
| 販売費及び一般管理費 | 17,433 | 17,982 |
| 営業利益 | 2,096 | 1,960 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 145 | 145 |
| 受取配当金 | 228 | 249 |
| 為替差益 | 15 | 12 |
| その他 | 32 | 28 |
| 営業外収益合計 | 421 | 436 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 1 | 33 |
| 保険解約損 | 0 | — |
| その他 | 0 | 11 |
| 営業外費用合計 | 2 | 45 |
| 経常利益 | 2,515 | 2,351 |
| 特別利益 | | |
| 投資有価証券売却益 | 358 | 595 |
| 特別利益合計 | 358 | 595 |
| 特別損失 | | |
| 減損損失 | 581 | 317 |
| 店舗閉鎖損失 | 62 | 33 |
| 建物解体費用 | — | 177 |
| 特別損失合計 | 644 | 529 |
| 税金等調整前当期純利益 | 2,229 | 2,418 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 775 | 921 |
| 法人税等調整額 | 152 | 118 |
| 法人税等合計 | 928 | 1,040 |
| 当期純利益 | 1,300 | 1,377 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 1,300 | 1,377 |

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (自 2023年3月 1日 至 2024年2月29日) | 当連結会計年度 (自 2024年3月 1日 至 2025年2月28日) |
|--------------|---|---|
| 当期純利益 | 1,300 | 1,377 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 805 | 743 |
| 繰延ヘッジ損益 | 8 | △29 |
| 為替換算調整勘定 | △2 | — |
| 退職給付に係る調整額 | 57 | 27 |
| その他の包括利益合計 | 867 | 741 |
| 包括利益 | 2,168 | 2,118 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る包括利益 | 2,168 | 2,118 |

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)

(単位:百万円)

| | 株主資本 | | | | |
|-------------------------|-------|-------|--------|--------|--------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 |
| 当期首残高 | 2,486 | 7,189 | 31,056 | △6,148 | 34,584 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | △1,789 | | △1,789 |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | | | 1,300 | | 1,300 |
| 自己株式の取得 | | | | △64 | △64 |
| 自己株式の処分 | | △10 | | 89 | 78 |
| 株主資本以外の項目の 当期変動額(純額) | | | | | |
| 当期変動額合計 | — | △10 | △488 | 24 | △474 |
| 当期末残高 | 2,486 | 7,178 | 30,567 | △6,123 | 34,109 |

| | その他の包括利益累計額 | | | | | | 新株予約権 | 純資産合計 |
|-------------------------|----------------------|-------------|--------------|--------------|----------------------|-----------------------|-------|--------|
| | その他 有価証券 評価差額金 | 繰延ヘッジ 損益 | 土地再評価 差額金 | 為替換算 調整勘定 | 退職給付に 係る 調整累計額 | その他の 包括利益 累計額合計 | | |
| 当期首残高 | 4,052 | 0 | △233 | 2 | △222 | 3,599 | 30 | 38,214 |
| 当期変動額 | | | | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | | | | | | △1,789 |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | | | | | | | | 1,300 |
| 自己株式の取得 | | | | | | | | △64 |
| 自己株式の処分 | | | | | | | | 78 |
| 株主資本以外の項目の 当期変動額(純額) | 805 | 8 | | △2 | 57 | 867 | △11 | 856 |
| 当期変動額合計 | 805 | 8 | — | △2 | 57 | 867 | △11 | 381 |
| 当期末残高 | 4,857 | 8 | △233 | — | △165 | 4,467 | 18 | 38,596 |

当連結会計年度(自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)

(単位:百万円)

| | 株主資本 | | | | |
|-------------------------|-------|-------|--------|--------|--------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 |
| 当期首残高 | 2,486 | 7,178 | 30,567 | △6,123 | 34,109 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | △1,791 | | △1,791 |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | | | 1,377 | | 1,377 |
| 自己株式の取得 | | | | △55 | △55 |
| 自己株式の処分 | | △8 | | 74 | 66 |
| 株主資本以外の項目の 当期変動額(純額) | | | | | |
| 当期変動額合計 | — | △8 | △414 | 19 | △402 |
| 当期末残高 | 2,486 | 7,170 | 30,153 | △6,104 | 33,706 |

| | その他の包括利益累計額 | | | | | | 新株予約権 | 純資産合計 |
|-------------------------|----------------------|-------------|--------------|--------------|----------------------|-----------------------|-------|--------|
| | その他 有価証券 評価差額金 | 繰延ヘッジ 損益 | 土地再評価 差額金 | 為替換算 調整勘定 | 退職給付に 係る 調整累計額 | その他の 包括利益 累計額合計 | | |
| 当期首残高 | 4,857 | 8 | △233 | — | △165 | 4,467 | 18 | 38,596 |
| 当期変動額 | | | | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | | | | | | △1,791 |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | | | | | | | | 1,377 |
| 自己株式の取得 | | | | | | | | △55 |
| 自己株式の処分 | | | | | | | | 66 |
| 株主資本以外の項目の 当期変動額(純額) | 743 | △29 | | — | 27 | 741 | 1 | 742 |
| 当期変動額合計 | 743 | △29 | — | — | 27 | 741 | 1 | 339 |
| 当期末残高 | 5,601 | △20 | △233 | — | △138 | 5,208 | 20 | 38,935 |

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (自 2023年3月 1日 至 2024年2月29日) | 当連結会計年度 (自 2024年3月 1日 至 2025年2月28日) |
|----------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前当期純利益 | 2,229 | 2,418 |
| 減価償却費 | 695 | 739 |
| 減損損失 | 581 | 317 |
| のれん償却額 | 496 | 620 |
| 貸倒引当金の増減額 (△は減少) | 0 | △1 |
| 賞与引当金の増減額 (△は減少) | 30 | △118 |
| 退職給付に係る負債の増減額 (△は減少) | △12 | △22 |
| その他の引当金の増減額 (△は減少) | 73 | 1 |
| 受取利息及び受取配当金 | △373 | △395 |
| 支払利息 | 1 | 33 |
| 為替差損益 (△は益) | △0 | △0 |
| 投資有価証券売却損益 (△は益) | △358 | △595 |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | △29 | 399 |
| 棚卸資産の増減額 (△は増加) | △218 | 42 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | 289 | △781 |
| 未払消費税等の増減額 (△は減少) | △85 | 7 |
| 前受金の増減額 (△は減少) | △187 | △9 |
| 未払金の増減額 (△は減少) | 126 | △98 |
| その他の資産の増減額 (△は増加) | 279 | 356 |
| その他の負債の増減額 (△は減少) | △7 | 30 |
| 小計 | 3,530 | 2,943 |
| 利息及び配当金の受取額 | 377 | 403 |
| 利息の支払額 | △1 | △35 |
| 法人税等の支払額 | △1,365 | △607 |
| 法人税等の還付額 | 125 | 318 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 2,666 | 3,023 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (自 2023年3月 1日 至 2024年2月29日) | 当連結会計年度 (自 2024年3月 1日 至 2025年2月28日) |
|------------------------------|---|---|
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △875 | △759 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △208 | △56 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △1,527 | △1,016 |
| 投資有価証券の売却による収入 | 475 | 1,789 |
| 投資有価証券の償還による収入 | 1,500 | — |
| 連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による 支出 | — | △10,202 |
| 長期貸付金の回収による収入 | 0 | 0 |
| 長期貸付けによる支出 | △1 | △0 |
| 長期前払費用の取得による支出 | △54 | △57 |
| その他の支出 | △547 | △427 |
| その他の収入 | 134 | 193 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △1,103 | △10,536 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額 (△は減少) | — | 750 |
| 長期借入れによる収入 | — | 10,000 |
| 長期借入金の返済による支出 | — | △1,312 |
| 自己株式の取得による支出 | △0 | △0 |
| 自己株式の売却による収入 | 12 | 11 |
| 配当金の支払額 | △1,789 | △1,791 |
| その他の支出 | △15 | △8 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △1,791 | 7,648 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 0 | — |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | △228 | 134 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 1,799 | 1,570 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 1,570 | 1,705 |

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

(役員向け株式報酬制度)

当社は、2018年5月17日開催の第68回定時株主総会に基づき、2018年11月28日より、当社の取締役（監査等委員である取締役を除く）及び監査等委員である取締役（社外取締役を除く）、当社の主要グループ子会社の取締役及び監査役（社外監査役を除く）を対象者（以下、「取締役等」という）とする株式報酬制度（以下、「本制度」という）を導入しております。

(1) 取引の概要

本制度は、当社が設定した信託（以下、「本信託」という）に対して金銭を拠出し、本信託が当該金銭を原資として当社株式を取得し、本信託を通じて対象会社の取締役等に対して、対象会社が定める役員報酬に係る役員向け株式給付信託株式給付規程に従って、当社株式を給付する株式報酬制度であります。また、取締役等が当社株式の給付を受ける時期は、原則として取締役等の退任時となります。

(2) 信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額（付随費用の金額を除く）により純資産の部に自己株式として計上しております。当該自己株式の帳簿価額及び株式数は当連結会計年度末において、それぞれ289百万円、150,868株であります。

(企業結合等関連)

1. 企業結合の概要

(1) 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称：株式会社羅針

事業の内容：高級ブランド時計のリユース販売事業

(2) 企業結合を行った主な目的

羅針は、リユース業界で豊富な経験と実績を持つ企業であり、高級ブランド時計を専門的に取り扱うリユース事業を運営しており、国内にて4店舗を展開するほか、銀座にて買取専門サロンも構えております。

リユース業界はサステナブルな社会の実現に向けた消費者の価値観の変化により、今後も持続的な成長が見込まれます。羅針を当社グループに加えることで、従来の事業領域を超えた新たな価値を創出し、より多様なニーズに応える体制を構築いたします。

ブランド事業における事業領域の拡大と付加価値の向上、当社グループの飛躍的な利益成長、そして、安定した強固な事業ポートフォリオの確立を目指し、同社の株式を取得いたしました。

(3) 企業結合日

支配獲得 2024年12月2日 みなし取得日 2024年12月1日

追加取得 2025年2月21日 みなし取得日 2024年12月1日

(4) 企業結合の法的形式

株式取得

(5) 結合後企業の名称

変更ありません。

(6) 取得した議決権比率

100%

(7) 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として株式を取得したことによるものであります。

2. 連結財務諸表に含まれている被取得企業の業績の期間

2024年12月1日から2025年2月28日まで

3. 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価 現金 10,799百万円

4. 主要な取得関連費用の内容及び金額

アドバイザーに対する報酬・手数料等 37百万円

5. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

(1) 発生したのれん 7,932百万円

なお、取得原価の配分の完了に伴い、のれんは確定しております。

(2) 発生原因

今後の事業展開により期待される超過収益力から発生したものであります。

(3) 償却方法及び償却期間

16年間にわたる均等償却

6. 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

流動資産 8,729百万円

固定資産 2,109百万円

資産合計 10,838百万円

流動負債 6,014百万円

固定負債 1,957百万円

負債合計 7,971百万円

7. のれん以外の無形資産に配分された金額及びその主要な種類別の内訳並びに加重平均償却期間

顧客関連資産 1,149百万円 (償却期間 7年)

技術関連資産 463百万円 (償却期間 5年)

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは主たる取扱商品を基礎に「ブランド事業」、「アパレル事業」の2事業を報告セグメントとしております。

① ブランド事業

(株)エフ・ディ・シー・プロダクツ及びその子会社が、主にジュエリーを中心とした商品群において、企画・製造・販売の一貫したブランドビジネスを展開しております。その主なブランドは「4℃」、「Canal 4℃」、「EAU DOUCE 4℃」等であります。また、(株)羅針が、高級ブランド時計を専門に、確かな鑑定力による高い信頼性と豊富なラインナップを強みとしたリユース販売事業を展開しております。

② アパレル事業

(株)アスティ及びその子会社が、アパレルや雑貨を核に、中国やバングラデシュ、ベトナム等の海外生産背景を強みに企画提案力のあるメーカー機能やアパレル機能を有し、大手アパレル、専門店及びGMSを主たるマーケットに事業展開しております。また、(株)アージュが、婦人服、服飾雑貨及び実用衣料品を中心とするリテール事業を西日本を中心に展開しております。

当連結会計期間より「ジュエリー事業」としていたセグメント名称を「ブランド事業」に変更しております。当該セグメントの名称変更によるセグメント情報に与える影響はありません。なお、前連結会計期間の報告セグメントについても、変更後の名称で表示しております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成のために採用している会計処理の方法と同一であります。報告セグメントの利益は、営業利益であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報並びに収益の分解情報
 前連結会計年度(自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 (注) 1 | 連結財務諸表 計上額 (注) 2 |
|------------------------|---------|--------|--------|--------------|------------------------|
| | ブランド事業 | アパレル事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 顧客との契約から生じる収益 | 16,922 | 21,598 | 38,520 | — | 38,520 |
| その他の収益 (注) 3 | 73 | 864 | 937 | — | 937 |
| 外部顧客への売上高 | 16,995 | 22,462 | 39,457 | — | 39,457 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 0 | 122 | 122 | △122 | — |
| 計 | 16,995 | 22,585 | 39,580 | △122 | 39,457 |
| セグメント利益 | 1,426 | 1,046 | 2,472 | △375 | 2,096 |
| セグメント資産 | 23,092 | 29,491 | 52,583 | △1,940 | 50,643 |
| その他の項目 | | | | | |
| 減価償却費 | 317 | 361 | 679 | 15 | 695 |
| 有形固定資産及び無形固定 資産の増加額 | 606 | 516 | 1,123 | 0 | 1,124 |

(注) 1 (1) セグメント利益の調整額△375百万円には、のれん償却額△496百万円、報告セグメントに帰属しない一般管理費△478百万円、セグメント間取引消去額598百万円が含まれております。

(2) セグメント資産の調整額△1,940百万円は、セグメント間の相殺額△14,463百万円、各報告セグメントに配分していない全社資産11,282百万円及びのれんの未償却残高1,241百万円であります。なお、全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない余資運用資金(現金及び預金)等の資産であります。

(3) 減価償却費の調整額15百万円は、報告セグメントに帰属しない全社資産に係るものであります。

(4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額0百万円は、報告セグメントに帰属しない全社資産に係るものであります。

2 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 その他の収益は、不動産賃貸収入であります。

当連結会計年度(自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 (注) 1 | 連結財務諸表 計上額 (注) 2 |
|------------------------|---------|--------|--------|--------------|------------------------|
| | ブランド事業 | アパレル事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 顧客との契約から生じる収益 | 21,603 | 23,399 | 45,003 | — | 45,003 |
| その他の収益 (注) 3 | 73 | 826 | 899 | — | 899 |
| 外部顧客への売上高 | 21,676 | 24,226 | 45,902 | — | 45,902 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 0 | 131 | 131 | △131 | — |
| 計 | 21,677 | 24,357 | 46,034 | △131 | 45,902 |
| セグメント利益 | 1,509 | 1,020 | 2,530 | △569 | 1,960 |
| セグメント資産 | 32,165 | 25,939 | 58,105 | 8,389 | 66,494 |
| その他の項目 | | | | | |
| 減価償却費 | 368 | 359 | 727 | 11 | 739 |
| 有形固定資産及び無形固定 資産の増加額 | 274 | 489 | 763 | 3 | 767 |

(注) 1 (1) セグメント利益の調整額△569百万円には、のれん償却額△620百万円、報告セグメントに帰属しない一般管理費△495百万円、セグメント間取引消去額546百万円が含まれております。

(2) セグメント資産の調整額8,389百万円は、セグメント間の相殺額△23,709百万円、各報告セグメントに配分していない全社資産23,546百万円及びのれんの未償却残高8,553百万円であります。なお、全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない余資運用資金(現金及び預金)等の資産であります。

(3) 減価償却費の調整額11百万円は、報告セグメントに帰属しない全社資産に係るものであります。

(4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額3百万円は、報告セグメントに帰属しない全社資産に係るものであります。

2 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 その他の収益は、不動産賃貸収入であります。

【関連情報】

前連結会計年度（自 2023年3月1日 至 2024年2月29日）

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3 主要な顧客ごとの情報

売上高の10%以上を占める特定の顧客への売上高がないため、記載を省略しています。

当連結会計年度（自 2024年3月1日 至 2025年2月28日）

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3 主要な顧客ごとの情報

売上高の10%以上を占める特定の顧客への売上高がないため、記載を省略しています。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自 2023年3月1日 至 2024年2月29日）

(単位：百万円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 | 合計 |
|------|---------|--------|-----|-----|-----|
| | ブランド事業 | アパレル事業 | 計 | | |
| 減損損失 | 239 | 341 | 581 | — | 581 |

当連結会計年度（自 2024年3月1日 至 2025年2月28日）

(単位：百万円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 | 合計 |
|------|---------|--------|-----|-----|-----|
| | ブランド事業 | アパレル事業 | 計 | | |
| 減損損失 | 198 | 119 | 317 | — | 317 |

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)

報告セグメントに配分されたのれんの償却額及び未償却残高はありません。報告セグメントに配分されていないのれんの償却額は、496百万円、未償却残高1,241百万円であります。当該償却額及び未償却残高は、株式交換及び株式取得により生じたのれんに係るものであります。

当連結会計年度(自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)

報告セグメントに配分されたのれんの償却額及び未償却残高はありません。報告セグメントに配分されていないのれんの償却額は、620百万円、未償却残高8,553百万円であります。当該償却額及び未償却残高は、株式交換及び株式取得により生じたのれんに係るものであります。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度(自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)

該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。

(1株当たり情報)

| | 前連結会計年度 (自 2023年3月 1日 至 2024年2月29日) | 当連結会計年度 (自 2024年3月 1日 至 2025年2月28日) |
|------------|---|---|
| 1株当たり純資産額 | 1,798.49円 | 1,812.89円 |
| 1株当たり当期純利益 | 60.65円 | 64.18円 |

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載していません。

2 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前連結会計年度 (自 2023年3月 1日 至 2024年2月29日) | 当連結会計年度 (自 2024年3月 1日 至 2025年2月28日) |
|---------------------------------|---|---|
| 1株当たり当期純利益 | | |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円) | 1,300 | 1,377 |
| 普通株主に帰属しない金額 (百万円) | — | — |
| 普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円) | 1,300 | 1,377 |
| 普通株式の期中平均株式数 (株) | 21,444,022 | 21,461,476 |

| | 前連結会計年度 (自 2023年3月 1日 至 2024年2月29日) | 当連結会計年度 (自 2024年3月 1日 至 2025年2月28日) |
|--|--|---|
| 希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含まれなかった潜在株式の概要 | 2020年7月8日 取締役会決議 第13回新株予約権 普通株式 16,500株 | 2020年7月8日 取締役会決議 第13回新株予約権 普通株式 16,500株 |
| | 2020年7月8日 取締役会決議 第14回新株予約権 普通株式 29,500株 | 2020年7月8日 取締役会決議 第14回新株予約権 普通株式 29,100株 |
| | 2022年7月7日 取締役会決議 第15回新株予約権 普通株式 24,000株 | 2022年7月7日 取締役会決議 第15回新株予約権 普通株式 18,000株 |
| | 2022年7月7日 取締役会決議 第16回新株予約権 普通株式 28,900株 | 2022年7月7日 取締役会決議 第16回新株予約権 普通株式 28,500株 |
| | | 2025年1月10日 取締役会決議 第17回新株予約権 普通株式 16,500株 |
| | | 2025年1月10日 取締役会決議 第18回新株予約権 普通株式 32,900株 |

3 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前連結会計年度 (2024年2月29日) | 当連結会計年度 (2025年2月28日) |
|--------------------------------|-------------------------|-------------------------|
| 純資産の部の合計額(百万円) | 38,596 | 38,935 |
| 純資産の部の合計額から控除する金額(百万円) | 18 | 20 |
| (うち新株予約権(百万円)) | (18) | (20) |
| 普通株式に係る期末の純資産額(百万円) | 38,577 | 38,915 |
| 1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株) | 21,449,660 | 21,465,960 |

4 株主資本において自己株式として計上されている役員向け株式給付信託に残存する自社の株式は、1株当たり当期純利益の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めており、また、1株当たり純資産額の算定上、期末発行済株式総数から控除する自己株式数に含めております。

1株当たり当期純利益の算定上、控除した当該自己株式の期中平均株式数は、前連結会計年度117,634株、当連結会計年度126,050株であり、1株当たり純資産額の算定上、控除した当該自己株式の期末株式数は、前連結会計年度132,170株、当連結会計年度150,868株であります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。